

I 経営の重点に関わること

評価段階 (A:よくできている B:概ねできている, C:あまりできていない, D:できていない)

1 教育・保育目標	2 重点目標	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員会から	改善策 (来年度の具体的な取組目標等)
笑顔いっぱい 元気な子	夢中になって あそぶ	子どもが「これがやりたい」「これが すき」と自分で場所や物を選んで遊ぶ	自分で場所を作ったり、素材を選んだりして遊ぶ姿が増え た。学年にとらわれず、全学年で遊びの共有ができるため、 「やりたい」「すき」なことに挑戦する姿がある	A	A	子どもたちはそれぞれに楽しんでいる。 子どもが段ボールで作ったパソ コンを大事に毎日持ち帰り、日々進 化しているのを見てきて、その子が とっておける場所があるのがとても 良いと感じた	・子ども達が自分で選んで手にとれる環境づくり を継続していく ・子どもたちが作った物をとっておいて、次にま たそれを使って遊ぶことができる場の保障と、 「もっと遊びたい」「また遊びたい」につながる ような保育者のかかわりを考えて実施していく
		子どもが試したり、気づいたり、発見 しながら「もっと」と繰り返しあそん でいる	・前日の遊びからつながって「昨日のまたやりたい」と繰り返し遊ぶ姿が ある。遊びが続き発展していくことが増え自分たちで工夫して遊んでいる。 一方で作ったものがそのままになってしまっていることあるので、物を大 切にしたり、作ったものを活かして遊んだりできる工夫をすることで 「もっと」につなげていけるようにしていきたい	B	B		
		子どもが自分が発見したこと、気づい たこと、面白さや楽しさを保育者や友 達に伝えながら遊んでいる	・「先生見て」「○○ちゃん見て」と自分の発見を言葉にする姿がたく さん見られる。その子なりの表現の仕方でも気づいたことや思ったこと を身近な人に伝えようとする姿が増えた・乳児なりに発見や楽しい ことなど草草や簡単な言葉で伝え遊ぶようになってきている	A	A		

II 各領域に関わること

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員会から	改善策 (来年度の具体的な取組目標等)
1 こども園における 教育及び保育	(1)0歳から小学校就 学前までの一貫した 教育及び保育	子どもの育ち、発達を捉えながら育ち のつながりを大事に学年目標に向かっ て保育を行っている	学年目標を意識しながら今の子どもたちの発達を捉え保育す るよう心がけている。また、一人一人の育ち、発達を丁寧に 捉えクラスで共有しながら保育している	A	A	・廃材であそぶことが好きなので、 もっと保護者にも協力を依頼しても 良いと思う。空き容器やコンテナな ど、遊びに使える物を持ってきても らうように声かけられるのを待つて いる保護者もいると思う	教育課程をもっと活用し、学年それぞれの発達に 応じた育ちを考慮し教育・保育していく
	(2)一日の生活の連 続性及びリズムの多 様性への配慮	子ども一人ひとりの心身の健康状態を 把握し、安心・安定した気持ちで園生 活を送れるように丁寧に関わっている	・一人一人の生活リズム、家庭環境に合わせて思いを受け止 め丁寧にわかっている・保育者が子どもの様子を丁寧に把 握し、心身の健康状態を考慮し丁寧にわかっている	A	A		家庭環境や保育時間が様々な子どもたち一人一人 を引き続き丁寧に思いを受け止めわかっている
	(3)環境を通して行 う教育及び保育	子どもの今日の遊びの姿からその先を 考え、子どもが「やってみたい」 「もっと」と思える保育者の支援や環 境が準備されている	・子どもの育ちや興味・関心に合わせ、職員間で連携して遊 びだしの環境を用意してきた。子どもの「もっと」がつな がっていくような遊びの続きの取っおきかたや物を大事に しようとする片付けの仕方を考えていきたい	B	B		片付けや物を大切にするにはどうしたら良いか？ 保育者自身の課題と捉え、改善策を考え実施して いく
2 安全管理・指導	(1)事故防止・防災	安全点検や様々な想定をした訓練を 行ったりし、危機管理意識をもって全 職員が状況に応じた行動や連携がとれ るよう努めている	様々な状況、時間帯を想定した訓練の実施、反省を毎月行うことが できている。しかし、災害が起きた場合、職員自身が判断して行動でき るか不安もあるので、もっと職員間で具体的な場面を想定していくこ とで災害時の備えの意識を高めていきたい	B	B	・きぼう中村町では実施しているが 参観会の時に、保護者も給食を食べ られると良いと思う。	職員自身が指示待ちが多い為、子どもに考えさせ る前に、保育者一人一人が考えて判断できるよ うな訓練を継続的にやっていく
3 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	家庭と連携し、個人差や年齢に考慮し ながら、健康に過ごすための基本的生 活習慣や食への関心・意欲がもてるよ うな取り組みを行っている	食育については、体験や季節を大事にしてきた。保健に関しては、毎 月紙芝居や絵本を各クラスに回すだけになっていた。もう少し子ども が興味関心をもち意識できるように工夫が必要だと感じるため、家庭 との連携という部分も含め取り組んでいきたい	A	A	・毎日のコドモンでの配信が保護者 にとってもっともありがたいと思う。 私立の園では、そのような配信がな いので、子ども自身の話を聞くこと でしか様子がわかからないことが多 い。	基本的な生活習慣を見につけたり、保健指導に関し ては家庭をもっと巻き込んで取り組むようにして いく
4 特別支援教育・ 保育	(1)支援体制づくり の推進	一人ひとりの発達や個性を十分に把 握・理解し適切な支援を検討し、全職 員で共通理解しながら保育を実践して いる	個々に合わせた支援を考えケース討議等で共通理解ができて いる。一方で担任以外の職員への共通理解が十分ではなかった 。ケース討議などにフリーやパートの職員も参加し意見を もらったり、直接伝達したりできるよう考えていきたい	B	B	・小学校の見学に行けたのはすごく 良かったと思う。小学校1年生の参観 会の時に先生からの話で、年長児が 見に来てくれたのが1年生にも刺激 になって良かったという話が聞け て、卒園児の保護者も喜んでいて。 今後も続いていくと良いと思う	個々に合わせた支援は引き続き作成し行ってい く。また、職員全体への周知という面を強化し、 直接報告する機会を増やしていく
5 組織運営	(1)組織体制の充実	職員一人ひとりが責任をもって自身の 役割に取り組み、発信し、全職員で 共有しながら計画的に実施されている	・分担された役割を一人一人が責任をもってとりにくんでいる・リーダー中 心にすすめているが、もう少し園全体で取り組めると良い・職員の数 が多いため、共有の難しさを感じる。職員が自分事として意識して取り組み 発信される側も自ら情報を求め理解し参加していくようにしていく	B	B	・小学校の見学に行けたのはすごく 良かったと思う。小学校1年生の参観 会の時に先生からの話で、年長児が 見に来てくれたのが1年生にも刺激 になって良かったという話が聞け て、卒園児の保護者も喜んでいて。 今後も続いていくと良いと思う	リーダー中心に進めていくが、リーダー任せにな らない体制づくりを強化していく
6 研 修	(1)研修体制の充実	重点目標や研修テーマの実現に向けて 日々の手だてを行い、園内研修を行う 中で、子どもの姿を捉え語り合い、 全職員で学びを共有している	年間を通して様々な職員が公開保育や事前、事後研修へ参加し学び合うこ とができたが、参加しなかった職員への共有に工夫が必要だった。日々の 手立てについては、具体的に園内研修で話し合うことができたが、研修 テーマ「子どもも大人も好きを増やそう」に対してもっと深く掘り返 る時間をとれると良かった	A	A	・小学校の見学に行けたのはすごく 良かったと思う。小学校1年生の参観 会の時に先生からの話で、年長児が 見に来てくれたのが1年生にも刺激 になって良かったという話が聞け て、卒園児の保護者も喜んでいて。 今後も続いていくと良いと思う	多くの職員が園内の公開保育に参加し、学び合 うことは継続していく。参加できない職員に対して の共有方法は改善し、自分事として考えていける ようにしていく
7 教育・保育環境 整備	(1)教育・保育環境 の充実	子どもの遊びや思いを捉え、子どもの 思いが実現できるように教材・用具を 準備したり環境を構成している	子どもの遊びの姿に合わせ、環境を準備し、子ども達の遊び に合わせて保育者が再構成することも意識できるようになっ てきた。子ども達が自ら可動遊具を動かして環境を再構成しな がら遊べる環境や保育者の関わりを考えていきたい	A	A	・きぼう中村町には自治会長さんが 花を植えてきてくれたり、近くの製 菓会社と小学校の7組さんと一緒に グッズを作ったり交流があるので、 園から連絡をとってみたいはどうか？	子ども自身で遊び、可動遊具を自由に動かして遊 べる環境づくりは引き続き行い、その場に応じた 再構成を職員一人一人がもっと考え実施してい くようにする
8 家庭との連携・ 協力	(1)家庭教育への支 援機能の充実	家庭とのつながりを大切に、遊びや 生活の様子を発信したり、参加会や懇 談会などで子どもの育ちを共有できる 機会をもち、連携を図っている	・日々コドモンで配信したり、園だより、学年だより等でも発信してい る。また送迎時に直接伝えあう機会ももったり、要望があれば面談も個別 に行ったりして連携を図っている。給食のサンプルの近くにレシピを置い たり、出汗の試飲会を行ったり「食」を通して家庭との連携をはかっ ている	A	A	・小学生が町探検をしていて、マッ プを作っていると思うが、共有でき ると面白いと思う	家庭への発信は引き続き行い、保護者からの協力 ももっと呼びかけ巻き込んでいけるようにしたい
9 近隣の学校との 連携	(1)近隣の園との連 携の推進	公開保育や公開授業、研修を通して近 隣園、学校と連携を図り、情報共有が 行われている	・近隣園と公開保育を通して見て学んだことを会議等で発信できるよ うにする・小学校訪問などでもっと関わりをもてたら良かった・職員 の交流はあるが子ども同士の交流があっても良いと思う。情報共有ま ではなかなか難しいが取り組みたい	B	B		後半、小学校の見学に行くことができ、とても良 い経験になったので、次年度も早い段階で計画し 交流をはかっていく
10 地域との連携	(1)信頼される園づ くりの推進	野菜作りや囲基教室、デイサービス訪 問などを通して地域の人と関わる機会 を設けている。また、職員が地域につ いての意識関心をもっていく	囲基教室や野菜作り、勤労感謝訪問を通して地域の方との交流をもつこ とができた。地域のオーガニック野菜を栽培している業者と連携し地域資源 を活かした給食を提供している。保育者がもっと地域を知り興味をもって 地域資源を取り入れ、地域との連携を図ってきたい	B	B		評議員の方からの地域の情報を参考にして、職員 自身ももっと地域を歩いて関心をもって地域を知 ることを実施していきたい